

あつぎ郷土博物館NEWS6月号

資料
整理中

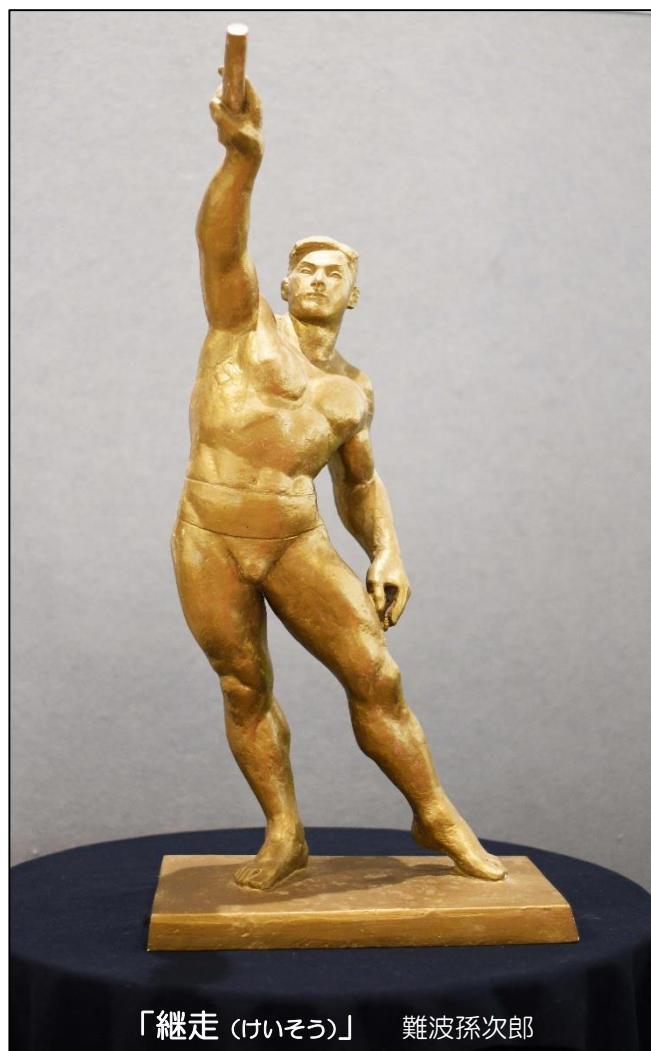
寄贈されたあつぎの彫刻家・難波孫次郎作品と関連資料 若き心、万葉の夢、一仏両祖

「睦合地域展」に出品中の島村亮作品、ご覧いただけただけでしょうか。睦合地区では芸術家をもう1人、彫刻家・難波孫次郎の作品を展示しています。

難波孫次郎といわれてもすぐにピンとくる方は少ないかもしれません。が、本厚木駅北口の大型ブロンズ像「若き心」の作者といえば、お分かりですね。

難波は大正3年(1914)、厚木市三田、中津川畔の生まれです。幼いころから小刀を離さず、木さえ削っていればご機嫌という子でした。長じては東京美術学校(現東京芸術大学)に進み、関野聖雲、北村西望、平櫛田中ら錚々たる教授陣の教えを受けます。

戦後第一回となる文部省日本美術展覧会(日展)で初入選し、昭和31年には「鉄槌投」が特選を受賞。これが「若き心」の原型となる作品です。写真の作品は「継走」、昭和50年頃の日展出品作品です。三部作の一作品のようで、バトンを高く掲げた姿に気迫を感じます。難波はこうした力強い作品のほか、万葉集に材をとった女性像「万葉の夢」シリーズ(展示中)、戦没者慰霊の祈りを込めた「釈迦如来坐像」(厚木市飯山)、大学等に納めた「一仏両祖像」など、数々の仏像や人物像を制作し一時代を築きました。この機会にぜひ厚木を代表する彫刻家・難波孫次郎の作品をご覧いただきたく、ご来館をお待ちしています。



「継走 (けいそう)」 難波孫次郎

博物館が一つの地域に取り組む「睦合地域展」

●会 期：令和6年6月23(日)まで

●入館料：無 料

あつぎ郷土博物館 6月の予定

日	曜日	行 事 内 容	講師等	時 間
13	木	あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会	13:00 ～16:00
NEW 16	日	あつぎひがし座 博物館 de 人形浄瑠璃 * 浄瑠璃 入江敦子、三味線 竹本土佐子	あつぎひがし座 (主催・人形)	14:00 ～14:30
20	木	あつぎの古文書解読会 参加自由	古文書解読会	13:00 ～16:00
NEW 22	土	県央地域の近世仏師 参加自由	薄井和男(元県 立歴史博物館長)	14:00 ～15:30
24	月	休館日		
27	木	あつぎの古文書学習会 参加自由	古文書解読会	13:00 ～16:00

古民家岸邸の七夕

場所：上荻野 792 番地 2 時間：10:00～17:00

* 令和 6 年 6 月 26 日から 7 月 7 日まで！

博物館共
催講座

●あつぎひがし座公演

1971 年、高校生の手で郷土に伝わる芸能を伝承し、情操教育の一環とすべく、神奈川県立厚木東高校人形浄瑠璃部が創立されました。その OG 会は「あつぎひがし座」と改称し、人形浄瑠璃部の指導、自主公演を中心に活動しています。今では多くの支持を集め、地域文化の一翼を担っています。6 月 16 日、13 時から 15 時まで、あつぎひがし座は、郷土博物館で浄瑠璃入江敦子、三味線 竹本土佐子とともに自主公演を行います。演目は、おなじみの傾城阿波の鳴門、団子売となります。伝統芸能を本当に身近に観ることができ、操作体験、質問コーナーで深く知ることができます。

【申し込み】申し込みは、往復はがきで下記まで。5 月 27 日(月)必着。

定員 70 人(申し込み多数の場合、抽選)、無料。

★〒243-0004 厚木市水引 1-6-2-A102 あつぎひがし座 林田洋子宛



- あつぎ郷土博物館 開館時間 午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休 館 日 毎月最終月曜日 年末年始(12/29～1/3)
- 古民家岸邸 開館時間 午前10時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)
休 館 日 月曜日と火曜日(祝日の場合は翌平日) 12/25～1/3



(申込み・問合せ) あつぎ郷土博物館
〒243-0206 厚木市下川入 1 3 6 6 - 4 電話 046-225-2515
Mail S650-3@city.atsugi.kanagawa.jp FAX 046-246-3005